



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 ブロードマインド株式会社

上場取引所

東

コード番号 7343

URL <https://www.b-minded.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 清

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長

(氏名) 石井 満

TEL 03 (5459) 3092

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,269	2.5	206	77.0	208	74.5	137	193.7
2026年3月期第1四半期	1,238	△14.5	116	38.8	119	33.6	46	80.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 81百万円(85.8%) 2026年3月期第1四半期 43百万円(79.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	24.01	23.47
2026年3月期第1四半期	8.21	7.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,321	3,732	70.1
2026年3月期	5,355	4,046	75.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,732百万円 2026年3月期 4,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	69.00	69.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,096	△3.6	480	△23.0	491	△23.0	320	△18.7
								55.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) ー、除外 1社(社名) Money With株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	5,949,716株	2026年3月期	5,944,616株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	205,249株	2026年3月期	205,249株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	5,740,148株	2026年3月期1Q	5,713,155株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、日経平均株価が過去最高値を更新して株式市場が活況を呈したこと等を背景に、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られる一方で、継続する物価上昇や人手不足、さらには中東情勢や米国の関税政策をはじめとする不安定な国際情勢の影響による懸念等もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあり、生活者の中では足元の家計及び将来設計に対する不安感も益々醸成されつつあります。

経済環境や家計の「変化」をきっかけに多くのご相談をお寄せいただいたことに加え、資産形成に関する興味関心の高さ、及びマクロ経済環境の両面から資産形成に資する保険商品や投資商品については良好な販売環境にありました。

このような環境の下、「フィナンシャルパートナー事業」においては、コンサルティング組織の拡大を見据え、2026年4月には30名弱の新卒学生を採用し、第3四半期からの稼働開始に向けて教育・育成に注力しているほか、AIコンサルティングシステムのモジュールの1つであるヒアリングツールの利用をスタートしており、面談、業務効率化を目的としたシステム開発等を進めております。「不動産販売事業」においては、建築資材価格や人件費の高騰が進む中で、当初計画した利益水準を確保するための経営資源の最適化および資産価値の最大化を優先し、開発を進めております。

以上を踏まえ、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,269,330千円（前年同期比2.5%増）、営業利益206,235千円（同77.0%増）、経常利益208,791千円（同74.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益137,828千円（同193.7%増）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

・フィナンシャルパートナー事業

フィナンシャルパートナー事業では、新規相談件数は引き続き堅調で、資産形成商品の販売が好調だったことによる生命保険及び金融商品仲介領域を中心に主力の手数料収入が伸展しました。さらに、従業員の生産性向上と業務効率化を目的としたAIエージェントシステムの開発等を引き続き進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,214,026千円（前年同期比1.6%減）となり、セグメント利益は202,968千円（同63.6%増）となりました。

・不動産販売事業

不動産販売事業では、建築資材価格や人件費の高騰が進む中で、当初計画した利益水準を確保するために、出口価格の引き下げによる早期売却を回避しております。前期に完成済の物件からの賃料収入のほか、物件仕入れ販売による売上を計上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、55,304千円（前年同期比－%）となり、セグメント利益は3,266千円（同－%）となりました。

（注）増減率について、当四半期・前年同四半期の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」と記載しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,917,577千円となり、前連結会計年度末に比べ6,009千円減少いたしました。これは主に販売用の不動産の完成及び仕入等が進行したことにより販売用不動産と仕掛販売用不動産の合計が36,645千円増加したものの、現金及び預金が22,644千円減少、売掛金が13,251千円減少したことによるものであります。固定資産は1,404,093千円となり、前連結会計年度末に比べ28,313千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が減少したこと等により投資その他の資産が16,592千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,321,670千円となり、前連結会計年度末に比べ34,323千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,489,912千円となり、前連結会計年度末に比べ278,633千円増加いたしました。これは主に賞与の支給により賞与引当金が128,346千円減少、納税したことにより未払法人税等が102,593千円減少、及び未払金が147,155千円減少したものの、運転資金需要等として短期借入金が600,000千円増加したことによるものであります。固定負債は99,063千円となり、前連結会計年度末に比べ397千円増加いたしました。これは主に資産除去債務が397千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,588,975千円となり、前連結会計年度末に比べ279,030千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,732,694千円となり、前連結会計年度末に比べ313,353千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が137,828千円増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が396,016千円減少、その他有価証券評価差額金が61,857千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.1%（前連結会計年度末は75.6%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,369	1,265,724
売掛金	497,217	483,965
販売用不動産	952,232	1,236,232
仕掛販売用不動産	1,054,368	807,014
その他	131,398	126,389
貸倒引当金	—	△1,750
流動資産合計	3,923,587	3,917,577
固定資産		
有形固定資産	330,690	319,582
無形固定資産		
のれん	7,208	6,402
その他	185,175	185,369
無形固定資産合計	192,384	191,771
投資その他の資産	909,331	892,738
固定資産合計	1,432,406	1,404,093
資産合計	5,355,993	5,321,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	116,020	13,426
賞与引当金	248,315	119,968
返金負債	187,900	198,943
その他	639,043	537,573
流動負債合計	1,211,279	1,489,912
固定負債		
資産除去債務	98,666	99,063
固定負債合計	98,666	99,063
負債合計	1,309,945	1,588,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	657,025	657,804
資本剰余金	557,025	557,804
利益剰余金	2,974,709	2,716,521
自己株式	△176,020	△176,020
株主資本合計	4,012,740	3,756,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,628	△23,228
その他の包括利益累計額合計	38,628	△23,228
新株予約権	91	89
非支配株主持分	△5,412	△277
純資産合計	4,046,048	3,732,694
負債純資産合計	5,355,993	5,321,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,238,361	1,269,330
売上原価	3,823	36,659
売上総利益	1,234,538	1,232,671
販売費及び一般管理費	1,118,005	1,026,436
営業利益	116,533	206,235
営業外収益		
受取利息	23	15
受取配当金	—	285
持分法による投資利益	2,821	1,583
その他	683	1,213
営業外収益合計	3,529	3,097
営業外費用		
支払利息	93	446
株式交付費	97	63
支払保証料	91	30
自己株式取得費用	108	—
営業外費用合計	390	540
経常利益	119,671	208,791
特別損失		
関係会社株式売却損	—	1,236
貸倒引当金繰入額	—	1,750
事業譲渡関連費用	9,737	—
特別損失合計	9,737	2,986
税金等調整前四半期純利益	109,933	205,805
法人税、住民税及び事業税	6,472	4,519
法人税等調整額	59,587	57,790
法人税等合計	66,060	62,310
四半期純利益	43,873	143,494
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3,057	5,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,931	137,828

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	43,873	143,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	△61,857
その他の包括利益合計	61	△61,857
四半期包括利益	43,934	81,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,992	75,971
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,057	5,665

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィナンシャル パートナー 事業	不動産販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,233,376	4,984	1,238,361	—	1,238,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,233,376	4,984	1,238,361	—	1,238,361
セグメント利益	124,071	△7,538	116,533	—	116,533

（注） 1. セグメント売上高及びセグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引高消去額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィナンシャル パートナー 事業	不動産販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,214,026	55,304	1,269,330	—	1,269,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,214,026	55,304	1,269,330	—	1,269,330
セグメント利益	202,968	3,266	206,235	—	206,235

（注） 1. セグメント売上高及びセグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引高消去額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	18,185千円	14,941千円
のれんの償却額	806	806